

事務事業名		豊かな海を育む大きな森づくり事業		☒ 実施計画登載事業		☒ 合併建設計画登載事業							
政策体系	政策名	02自然豊かな環境の保全と創造		事業期間		予算科目							
	施策名	04良好な河川・湾環境の保全				会計	款	項	目	事業			
	基本事業名	02河川・湾環境保全活動の推進											
根拠法令				☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 (開始 13 年度～) ☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 平成 年度 ～ 平成 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		01 06 02 04 04							
所属	部課名	農林水産部農林課											
	課長名	田中 聖一											
	係 名	林業係	電話								27-3111		
	担当者	木村 亮	内線	7126									
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							全体計画(※期間限定複数年度のみ)						
恵まれた豊かな自然を次の世代に引き継ぐため、漁業者・市民ボランティアと市が一体となって広葉樹の植樹活動を行うことにより、森林が有する地球温暖化の防止、水源かん養機能、土砂流出防止機能、川や海への豊富な栄養分の供給などの公益的機能を維持・増進させながら、豊かな海と資源を育む環境づくりを進めるとともに、広く森林への理解と関心を高めてもらう機会とする事業。 主な業務内容 ①植樹場所の選定 ②要領の作成 ③広報等による市民ボランティア募集 ④補助金等申請・請求手続き ⑤植樹場所の下準備作業、苗木購入等に係る契約事務 ⑥使用する物品・車両の調達(購入、借用、返却) ⑦ 講演者の手配 ⑧植樹会参加者への案内 ⑨植樹祭の開催 ⑩業務完了確認・報告 事業費は、植樹場所の下準備作業・苗木代・補植の委託料と植樹会に係る消耗品費等に支出される。							総投入量 (千円)	事業費 財源内訳	国庫支出金				
									都道府県支出金				
									地方債				
									その他				600
									一般財源				300
									事業費計 (A)				900
人件費	正規職員従事人数				1								
	延べ業務時間				100								
	人件費計 (B)				400								
	トータルコスト(A)+(B)				1,300								

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標										
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 平成27年10月25日に植樹祭を実施し、0.2haにアオダモ600本を植樹。 今年度計画(今年度に計画している主な活動) 前年度同様に開催			⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
			名称		単位					
			ア	植樹面積	ha					
			イ	植樹本数	本					
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 ①放置していた市有林 ②漁業者・市民ボランティア等参加者			⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)							
			名称		単位					
			カ	延べ植樹計画面積	ha					
			キ	延べ植樹計画本数	本					
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ①伐採跡地が広葉樹の森になる。 ②参加者の森林への理解と関心が高まる。			⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)							
			名称		単位					
			サ	事業進捗率 (延べ植樹面積／計画植樹面積)	%					
			シ							
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 海域・河川環境の保全に取り込む。			⑦ 成果指標							
			名称		単位					
			ス							
(2) 総事業費・指標等の推移										
投入量	事業費 財源内訳	国庫支出金	千 円							
		都道府県支出金	千 円			200		200		
		地方債	千 円							
		その他	千 円			600		5		
		一般財源	千 円			161		630		749
	人件費	事業費計 (A)	千 円	0	961	835	749	566	700	
		正規職員従事人数	人	0	2	2	2	2	2	
		延べ業務時間	時 間	0	200	200	200	200	200	
		人件費計 (B)	千 円	0	800	800	800	800	800	
		トータルコスト(A)+(B)	千 円	0	1,761	1,635	1,549	1,366	1,500	
	⑤活動指標	ア	ha		0.5	0.5	0.5	0.2	0.5	
		イ	本		2,000	2,000	2,000	600	2,000	
		ウ								
	⑥対象指標	カ	ha		12	12	13	13	13	
キ		本		45,400	47,400	49,400	50,000	52,000		
ク										
⑦成果指標	サ	%		20%	40%	60%	68%	88%		
	シ									
	ス									

事務事業ID	0574	事務事業名	豊かな海を育む大きな森づくり事業
--------	------	-------	------------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 三陸町越喜来字小出地内の市有林は、昭和のはじめから家畜の餌となる牧草地として利用されていたが、家畜の減少と放牧地の利用度の高まりにより当地が不要となったことから荒地になっていた。この市有林を植樹活動とともに新たな開発をし、利用することは、越喜来湾に注ぐ浦浜川の水源涵養にも繋がっていくことから「復興の森」と位置づけ、植樹活動を再開したものである。	
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ 自らの手で植樹することにより、植樹することの意義や森林の持つ公益的機能について、漁業者や市民ボランティア等の参加者の理解が得られ、森林への理解と関心がより高まってきている。	
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 漁業関係者及び市民ボランティア等の参加者から、事業の継続が求められている。	

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】 ☒ 影響有 ⇒【その内容】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
<table><tr><td>① 目的妥当性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>② 有効性</td><td>☐ 適切</td><td>☒ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>③ 効率性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>④ 公平性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr></table>	① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	平成13年度から着手した日頃市町字大森地内の官行造林伐採跡地への植樹は、当初の計画どおり平成22年度で完了した。これにより森林環境の保全が図られるとともに、延べ2千人を超える植樹活動への参加によって、森づくりに対して広く理解と関心を高める機会となった。平成23年度は、震災により活動を中止。平成24年度から三陸町越喜来字小出地内の市有林で再開した。									
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																				
③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)	(4) 改革・改善による期待成果																					
<table><tr><td>☐ 廃止</td><td>☐ 休止</td><td>☐ 目的再設定</td><td>☐ 事業統合・連携</td><td>☒ 現状維持</td></tr><tr><td colspan="5">事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)</td></tr></table> (上記方向性に対する具体的な内容) 本事業は、平成24年度以降も新たな場所で継続実施する考えであり、適地を選定して計画するとともに、参加募集にあたっては、これまでと同様に市広報による一般募集のほか、広範囲に積極的な参加の呼びかけを検討する。	☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☒ 現状維持	事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)					左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)											
☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☒ 現状維持																		
事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)																						
<table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td>●</td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td>×</td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td>×</td><td>×</td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		●																			
	維持			×																		
	低下		×	×																		
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 特になし。																						

2次評価者	(職 名) ※原則として施策の主管課長 農林課長	(氏 名) 田中聖一
-------	-----------------------------	---------------

4 事務事業の2次評価結果

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合																						
①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)																						
☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている																						
②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)																						
☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																						
(2) 2次評価者としての評価結果	(3) 評価結果の根拠と理由																					
<table><tr><td>① 目的妥当性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>② 有効性</td><td>☐ 適切</td><td>☒ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>③ 効率性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>④ 公平性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr></table>	① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	適切な事務執行がなされている。									
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																				
③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)	(5) 改革・改善による期待成果																					
<table><tr><td>☐ 廃止</td><td>☐ 休止</td><td>☐ 目的再設定</td><td>☐ 事業統合・連携</td><td>☒ 現状維持</td></tr><tr><td colspan="5">事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)</td></tr></table> (上記方向性に対する具体的な内容) ・参加体制の構築について検討していく必要がある。	☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☒ 現状維持	事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)					左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)											
☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☒ 現状維持																		
事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)																						
<table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td>●</td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td>×</td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td>×</td><td>×</td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		●																			
	維持			×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
